

平成 26 年度 第 2 回 理事会議事録

日時：平成 26 年 5 月 27 日（火）18：30～21：00

場 所：湯村温泉病院 理学療法室

出席：(理事) 小林伸、磯野、高村、有泉、藤田、青柳、
北山、古屋、笠井、井村
(部長) 菊池(悟)、中込、大西、上田、名取、菊
池(信)、遠藤、市川、小尾、小林(泰)、河野、鈴
木、大内、菅谷、加納、
(委員長) 小林(司)、三井、小林(幸)、山田
(監事) 谷村

欠席：(監事) 斎藤 (委員長) 宮下 (部長) 清水、三枝
書記：伊東・木村

会員管理情報 (5 月 15 日現在)

慶事 1 件 弔事 0 件 施設数 111 会員数 757 休会 36 名

I. 監事・理事・委員長・部長の自己紹介

各局、委員会において局長、部長の自己紹介があった。

II. 検討事項 (全 6 題)

1. 山梨県理学療法士連盟会長の来賓挨拶について

(藤田事務管理局长)

承認 総会や交流会において連盟会長より「来賓挨拶」として挨拶を依頼する。

2. 緊急連絡網作成における個人情報について

(鈴木総務部長)

承認 各施設の代表者の電話番号を記載した緊急連絡網を作成する。今後はメーリングリストも検討する。今後は運用方法について案を提示し検討する旨の意見がだされた。

3. ビブス作成(案)について

(鈴木総務部長)

承認 ビブス後面に県士会ロゴマークを入れる。その他のデザインは事務管理局に一任する。デザインが決定してから 3 週間程度で仕上がる。完成次第、小林インターハイ準備委員長へ連絡広報に利用してもらう。

4. 運営資金積立管理規定について

(大内財務部長)

承認 第 1 条(2)の「関東甲信越ブロック理学療法士学会や」の部分削除する。第 3 条の(2)の「一般社団法人山梨県理学療法士会」は上述してあるため略する。

5. 「理学療法の日」川柳募集企画について

(青柳広報局長)

承認 川柳の選考は三役に依頼する。資料を参照し企画への意見等があれば 6 月 3 日までに青柳広報局長まで連絡する。企画はホームページや山梨

日日新聞への掲載を予定している。

6. 第 34 回関東甲信越ブロック学会の一般公開講座と山梨県士会の一般公開講座のタイアップについて

(高村副会長)

承認 企画局公開講座部としても予算や参加者の数等を考慮すると効率よく事業が進められるのでタイアップしていきたい。会長より啓発する上でいい機会になるため、講師の人選を考慮して欲しいとの意見があった。公開講座のプログラムが最後のため、会員が途中で帰ることで参加人数が減少する懸念があるのではとの意見に対して、公開講座の目的は山梨県の一般市民に向けた事業であることを前提にしているが、再度検討していくこととなる。

II. 報告事項 (全 8 題)

1. 分掌規定について

(藤田事務管理局长)

規定の内容を確認し変更などがある場合は今月中に藤田事務管理局长まで連絡していただきたい。

2. 組織図・役員名簿について

(鈴木総務部長)

組織図と役員名簿を更新したので内容を確認し変更などがあれば藤田事務管理局长まで連絡していただきたい。組織図はホームページに掲載予定。

3. 文書発行時の留意事項について

(藤田事務管理局长)

各局部での発行文章には必ず文章番号を記載していただきたい。会員宛のものは公印略でよい。会長名で出す場合は会長に確認をとり、事務局へ連絡していただきたい。電子公印については今後作成予定。

4. 会計書類提出について

(大内財務部長)

今年度からは A4 の出納帳(昨年度は B5)をご使用願いたい。提出物は、通帳のコピー(表紙も)、支出収入表の原本(領収書の添付)、金種表(局長部長の手書きサイン)、出納帳、印鑑、事業報告書(事業がある場合)。以上の会計書類は事業がない場合でも提出願いたい。

5. 交流会について

(菅谷事業管理部長)

6 月 6 日(金)、アピオ本館 1 階、19 時～21 時(受付 18 時 30 分)で開催。現在申込者数は 217 名。一般会員の割合が多いため試算より 3 万円程プラスの見込み。まだ申し込みのない施設があるので近日中に確認をとる。席はおおよその施設でかたまっていたく予定。受付の際にアナウンスする。

6. 第 4 回学術研修会について

(名取学術研修部長)

6月8日(日)にNOSAI 会館にて開催予定。テーマは「下肢のスポーツ障害～テーピングを踏まえて～」講師は小尾先生、定員120名を予定している。会費はテーピング代込で2000円。今回テーピング購入代を予算に計上していないため、予算内に納まるよう処理するとの説明があった。事務局より、予算の計上は、支出の部では実際にかかるすべての支出を計上するよう説明があった。

学術研修部の研修会の回数表記について質問があり、年度毎にするのか、通しにするのかについては次回理事会にて検討する。

7. 地域ケアシステム等について

(笠井地域支援事業推進委員)

地域ケア会議推進リーダーモデル研修会に笠井と農場が、介護予防支援推進リーダーモデル会議に磯野と大西が参加した。協会からはそれらの研修会の内容を各県士会に持ち帰り、リーダーを育成する研修会を開催して欲しいとのこと。また、そのリーダー研修会を受けた者を地域ケア会議や介護予防の市町村の派遣にあてて欲しいとのこと。協会の意向を受け、委員会を開催し具体的に進めていく必要がある。現在、厚労省から協会宛に文書が送られており、協会から各県士会の窓口を厚労省へ報告することになっている。その情報は厚労省から各県に報告され、今後、市町村がPTを必要と判断した場合は県が仲介役となって各県士会に派遣依頼する仕組みを作る。窓口は事務局として報告済み。

8. 第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会活動報告

(山田関東甲信越ブロック学会準備委員長)

日程は2015年9月12日(土)・13日(日)、会場はアピオ甲府、テーマ「今、歩むべき道～生活を見据えた理学療法～」。

プログラム(案)は、口述演題126題、ポスター160題、教育講演6題、基調講演・シンポジウム・パネルディスカッションは各1題ずつを予定。予算(案)については収入1,869万円、支出1,952万円を予定。日程については会場予約の関係等で9月開催となった。開催期日が例年より早くなるため、演題登録期間が4月となる。今年度中に演題準備を進められるよう早めの広報活動が必要となる。当面の課題はプログラム、予算、広報戦略の策定。7～8月で確定させ、9月の関ブロ士会長会議、10月の関ブロ千葉大会に備えていきたい。

III. その他

1. 会長挨拶

向こう2年間、今までの士会活動を踏襲し、また皆さんの新しいアイデアを取り入れながら活動を行っていききたい。人材を育成し、次世代の人達が士会を継続していくようにしていただきたい。この2年

間いくつか各局の企画があり、3士会合同で立ち上げた訪問リハや災害対策の研修会等があった。12月には3士会合同学術大会を成功させなければならない。地域ケアシステムについては8月以降動き出すので、3士会足並みを揃えながら進めていく必要がある。来年は関ブロがあり、高村副会長を中心に事業を進め、成功させていきたい。皆さんのアイデアがないと前述した事業が停滞するので、是非アイデアを出しながら進めていきたい。インターハイ活動についても啓発活動の場でもあるので皆さんの協力を願いたい。谷村監事には引き続きご意見をいただきたい。士会が楽しく、ひとつになって発展していくよう協力願いたい。

2. インターハイなどの各事業における県士会からの派遣依頼について

(小林会長)

前回のインターハイでは希望者のみ派遣依頼を出した。今回もインターハイサポート委員会で調査を行い、必要であれば派遣依頼を出すので、事務局まで連絡願いたい。また地域支援事業推進委員会をはじめ、各事業において委嘱状や派遣依頼公文書が必要な場合は事務局まで連絡願いたい。

3. スポーツPT部のベッド購入について

(小尾スポーツPT部長)

事務管理局長より、3月の理事会で承認済であることを伝える。

4. インターハイボランティアスタッフ研修会のテーピングの購入について

(小尾スポーツPT部長)

予算どおり、研修会での参加(テーピング代)費収入の計上と、利用するテーピングの購入はスポーツPT部、研修会の実施報告はインターハイサポート委員会で行うことで確認される。

4. 物品購入規定等の各規程について

(藤田事務管理局長)

各規程を取りまとめものを各部長へ配布する。パソコン(XP)の廃棄について明記したものを配布する。

5. 次回の理事会日程について

日時 平成26年6月24日(火) 19:00～

場所 県士会事務所

連絡 6月20日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(藤田)へ提出する。
議題がない場合でも、事務管理局へ連絡する。